

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ・平成27年度教育費予算
- ・第20回室内ソフトボール大会
- ・平成26年度読書感想文コンクール
- ・パークゴルフ場オープン
- ・『学習・生活・運動習慣』向上運動
- ・就学援助のお知らせ
- ・厚真町育英資金のご案内
- ・2月臨時・定例教育委員会
- ・図書室だより
- ・放課後子ども教室活動紹介

平成27年度教育費予算

総額 8億1,055万円

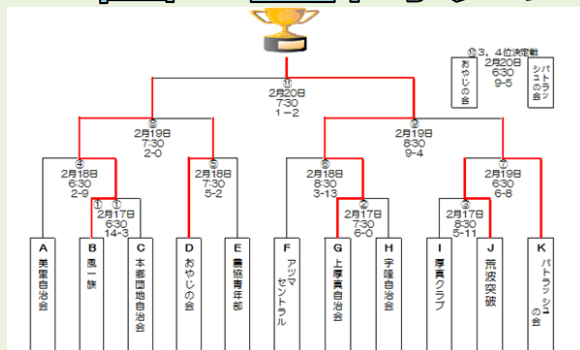
	事業内容	予算額	前年度比較
学校教育	英語教育推進事業や育英資金貸付事業等	9,001万円	△2,357万円
	町内小中学校の校舎維持管理費等	1億5,167万円	1,592万円
	教育振興推進事業や特別支援教育支援員の配置等	2,941万円	691万円
	厚真中学校体育館改修事業	1億5,872万円	1億3,813万円
	こども園や小中学校への給食に係る事業費	8,057万円	942万円
社会教育	放課後子ども教室開催事業や社会教育事業費	2,863万円	658万円
	埋蔵文化財発掘事業や厚真犬保護事業	1億7,370万円	△1億1,491万円
	公民館やマナビィハウスの修繕料や整備事業費	912万円	18万円
	図書室管理費や青少年センター維持管理費	2,435万円	1,020万円
	創作館の維持管理費や陶芸教室の開催事業費	162万円	△24万円
	体育行事の運営費等	485万円	52万円
	スポーツセンター等の維持管理費	5,790万円	2,216万円

平成27年は、新たに、4月から施行される厚真町いじめ防止基本方針や児童生徒の「学習・生活・運動習慣」向上運動推進方針に基づく取組を行います。

また、学校教育では、教育課程特例校の指定を受けての小中学校における英語教育活動の充実、ICT教育の研究、小学校屋外遊具の整備、中学校講堂天井改修など、社会教育では、生涯学習講座の開催、「あつま土曜楽校」の開催、青少年センター図書室の一部リニューアルによる図書室機能向上、町民スケートリンク整氷車導入などの事業を行います。

こうした新規事業などを含めた平成27年度の教育費の総額は、前年度より約7,130万円増の8億1,055万円となっています。

第20回 室内ソフトボール大会



2月17日から20日までの4日間の日程で「第20回室内ソフトボール大会」があつまスタードームを会場に盛大に開催されました。

今年度は、11チーム209人の参加があり、連日熱戦が繰り広げられました。

大会結果は、次のとおりです。

優勝 上厚真自治会
準優勝 風一族
第3位 おやじの会
第4位 パトラッシュの会



平成26年度 読書感想文コンクール 大賞は山野下 明音さん! (厚真中央小) 応募総数 216点 40人が入賞

町内の小学生を対象に、冬休み期間中、本に親しみ、心豊かな子どもたちを育むことを目的に毎年開催している『読書感想文コンクール』の表彰式が2月21日に行われました。

今年度は、町内の小学校2校から216作品が寄せられ、厳正な審査の結果、各学年から最優秀賞、優秀賞、優良賞の40点の入賞作品が決定し、大賞には厚真中央小学校6年生・山野下 明音さんの『ひめゆりの少女たち』が選ばれました。

表彰式では、保護者や学校の先生たちが見守るなか、入賞者の表彰と大賞・各学年の最優秀賞作品の朗読が行われました。



▲盾を手にして笑顔を見せる入賞した子どもたち

受賞者の皆さん、おめでとうございます！

読書感想文コンクール入賞者（敬称略）

学年	入賞区分	学校名	児童氏名
1年生	最優秀賞	上厚真小	丹羽 菜奈佳
	優秀賞	上厚真小	伊藤 柊優
	優良賞	厚真中央小	内山 裕翔
	"	上厚真小	折坂 結望
	"	上厚真小	日野 さくら
	"	上厚真小	宮副 咲良
2年生	最優秀賞	厚真中央小	高橋 優空
	優秀賞	上厚真小	安達 陽
	優良賞	厚真中央小	伊藤 楓花
	"	厚真中央小	堀川 紗良
	"	厚真中央小	小山 凜久
	"	厚真中央小	山本 康太
	"	上厚真小	寒河江 瑞希



学年	入賞区分	学校名	児童氏名
3年生	最優秀賞	厚真中央小	大本 あさみ
	優秀賞	厚真中央小	江川 京珠
	優良賞	厚真中央小	西 美悠
	"	厚真中央小	田中 優吾
	"	上厚真小	山崎 桜
	"	上厚真小	内山 修慈
4年生	最優秀賞	上厚真小	岩間 堅士
	優秀賞	厚真中央小	長岡 穂花
	優良賞	厚真中央小	田居 優樹
	"	厚真中央小	酒井 実咲
	"	厚真中央小	尾谷 優太
	"	上厚真小	大蔵 諒
5年生	最優秀賞	上厚真小	澤田 兼太朗
	優秀賞	上厚真小	大蔵 芽瑠
	優良賞	厚真中央小	山川 千奈
	"	厚真中央小	橋本 歩里
	"	厚真中央小	日下 このみ
	"	厚真中央小	浅野 菜々美
	"	上厚真小	藤江 結衣
6年生	"	上厚真小	滝 優月
	大賞	厚真中央小	山野下 明音
	優秀賞	厚真中央小	櫻井 李樺
	優良賞	厚真中央小	野呂 優花
	"	厚真中央小	吉岡 遼太朗
	"	上厚真小	吉岡 珀和
	"	上厚真小	高田 直之
	"	上厚真小	折坂 茄音

パークゴルフ場オープン

今年のパークゴルフ場のオープン日は下記のとおりです(予定)。みなさんのご利用お待ちしております。

■4月15日【水】

新町町民広場パークゴルフ場
上厚真パークゴルフ場

■5月 1日【金】

本郷いこいの森パークゴルフ場

※利用の際は、備え付けの利用者名簿に記入の上、ご利用ください。

★問合せ 教委育委員会社会教育グループ



青少年センターからのお知らせ

～夜間プラネタリウム投映会～

「しし座物語」

とき 4月23日(木)午後6時30分～

ところ 青少年センター2階プラネタリウム室

申込み不要、天気が良ければ天文台で実際に星を観察します。

～皆既月食観望会～

とき 4月4日(土)午後8時～9時30分

ところ 青少年センター天文台・屋上

4月2日午後5時までに社会教育グループTel27-2495までお申込み下さい。

※夜間開催のため、小・中学生のみでの参加の場合は保護者の同伴もしくは送迎が必要です。

平成27年度の 就学援助のお知らせ

教育委員会では、次の世帯に対して学用品費などを援助しています。

- 対 象 ①生活保護が停止か廃止になった世帯
②町民税が非課税か減免になった世帯
③個人事業税や固定資産税が減免になった世帯
④国民年金保険料の免除、国民健康保険料が減免、又は徴収が猶予された世帯
⑤児童扶養手当を受給している世帯
⑥世帯更正資金を利用している世帯
⑦公共職業安定所に登録している日雇い労働の世帯
⑧その他経済的に困りの世帯
- 援助内容 学用品費、修学旅行費、新入学用品費、学校給食費、体育実技用具費、医療費等
- 提出書類 就学援助費申請書（各学校にあります）、平成26年分源泉徴収票や確定申告書の控え
- 申込み 5月8日【金】までに各学校へお申込みください。小学校と中学校に子どもが通学している家庭は、それぞれの学校に申請書を提出してください。
- 問合せ 教育委員会 学校教育グループ
TEL 27-2494

2月臨時・定例教育委員会

2月13日に開催された臨時教育委員会及び2月26日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

1. 報告事項

平成27年度教育費予算案について、厚真町学校給食センター運営委員会、各学校の卒業式・入学式の日程について（3件／臨時教育委員会）

胆振管内教育実践表彰伝達、第20回室内ソフトボール大会、読書感想文コンクール表彰式（3件／定例教育委員会）

2. 議案

平成27年度教育行政執行方針について、厚真町文化振興基金条例の一部改正について（2件／臨時教育委員会）

※定例教育委員会は毎月下旬に開催します。傍聴される方は、事前に日時などをご確認ください。

★問合せ 教育委員会 学校教育グループ

TEL 27-2494

厚真町育英資金のご案内

大学・短大・専修学校などを対象

平成27年度の厚真町育英資金貸付けの申込みを受付いたします。

●貸付対象者

- （1）短期大学、大学、大学院（防衛大学等は除く）
- （2）高等専門学校（第4、5学年）
- （3）専修学校専門課程（修業年限が2年以上に限る）
- （4）国外において、（1）～（3）に掲げる学校に相当する教育内容を行う学校

上記（1）～（4）に該当する学校の新規入学者か在校生で、保護者等が厚真町在住の方。

●貸付月額 月額6万円を限度に1万円単位の希望額

●貸付方法 希望する金融機関の貸付（保護者等）の口座に毎月振り込みます。

（初回のみ4～7月分を7月中旬に振り込みます。）

●利 息 無利子

●返済方法 卒業後、6カ月据え置きで、借りた期間の3倍の期間で口座振替等により返済していただきます。

●選考基準 町育英資金選考基準に基づき、成績、学習意欲、家庭の所得等を考慮し貸付者を決定します。（収入基準額については、日本学生支援機構の基準額の2倍以下であること）

●提出書類 ①申請書（教育委員会にあります）

②在学証明書

③成績証明書

（最後に在学していた学校の証明書）

④健康診断書

（入学後、学校で受けた結果の写し）

⑤課税資料閲覧承諾書

（教育委員会にあります）

⑥世帯全員の平成27年度所得証明書（平成26年分所得）

●申込期限 平成27年5月29日（金）まで
所得証明書は平成27年6月15日（月）まで

●申 込 み 教育委員会 学校教育グループ

担当：山口

問 合 せ TEL 27-2494

※提出書類や所得基準等、不明な点がありましたら、お気軽にご相談ください。

◇◇◇◇◇ みんなで育てよう 厚真の子ども ◇◇◇◇◇

4月から、児童生徒の『学習・生活・運動習慣』向上運動が始まります。

教育委員会では、これからの社会を担う児童生徒が心身ともに健康で、安心・安全な生活を送ることができるよう、教育委員会、各小中学校、厚真町PTA連合会の連携のもと、町全体で平成27年4月から3ヵ年計画で児童生徒の「学習・生活・運動習慣」向上運動に取り組むことになりました。小・中学生をお持ちのご家庭では、下記の4つの柱(基本ルール)を参考にして、家庭ならではのルールを確立していただき、子どもたちのより良い習慣の形成・向上に努めていただきますようお願いいたします。

ご家庭にお願いしたい向上運動の4つの柱

厚真町教育委員会、厚真町内小中学校、厚真町PTA連合会

- 1 「早寝・早起き・朝ごはん」、「運動（外遊び）、手伝い」の奨励
 - (1) お子様に必要な睡眠時間を確保させ、早寝早起きの習慣をつけさせましょう。
 - (2) 朝ご飯を毎日しっかり摂る習慣をつけさせましょう。
 - (3) 学校での体育や遊び時間、部活動も含め、1日60分以上、運動（外遊び）や家の手伝いを
行う習慣をつけさせましょう。
 - 2 「家庭学習」、「家庭での読書」の奨励
 - (1) 毎日、学年の目安の時間、宿題・予習・復習などの家庭学習の習慣をつけさせましょう。
 - (2) 1日10分以上、家で読書をする習慣をつけさせましょう。
 - 3 「テレビ・ゲーム・インターネットに接続するメディア」に触れる時間のルール
 - (1) 1日2時間以内で終了する習慣をつけさせましょう。
 - (2) 夜8時～9時（中学生は夜9時）を目安に、それ以降は、インターネットに接続するメディアを使用させないようにしましょう。
 - 4 「インターネットに接続する携帯電話等のメディア」利用のルール
 - (1) 保護者は、インターネットの特徴をよく理解し、有害なインターネット環境からお子様を守るための指導、管理に努めましょう。（青少年インターネット環境整備法による）
 - (2) 児童生徒が専用に所有するメディアは、持たせないようにしましょう。
 - (3) 止むを得ず持たせなければならない場合は、携帯電話等の機能制限を活用し、かつ夜8時～9時（中学生は夜9時）を目安に保護者が預かりましょう。
 - (4) 止むを得ず持たせなければならない場合は、各種登録や設定等に必要なID（アカウント）や暗証番号は、保護者が責任を持って管理しましょう。
 - (5) 止むを得ず持たせなければならない場合は、書き込みに関すること（個人、地域特定情報の発信禁止）など、使用に関する約束を決め、メディアの使用状況を保護者が確認できるようにしましょう。
- (注)「メディア」とは、パソコン、タブレット端末、ゲーム機、音楽プレーヤー、携帯電話、スマートフォン等のインターネットに接続可能な端末のすべてを示します。

「厚真町いじめ防止基本方針」ができました。

厚真町では、平成27年4月から、「厚真町いじめ防止基本方針」が施行されます。いじめは、いじめを受けた子ども、いじめを行った子どもだけでなく、すべての子どもに関係する問題です。厚真町では、町民みんなで力を合わせて、いじめから子どもを守ることを目指して「厚真町いじめ防止基本方針」をつくりました。この基本方針の下に、子どもたちが安心して生活し、健やかに成長できるよう、教育委員会、学校、家庭、地域住民、関係機関等と連携しながら、いじめの防止、いじめの早期発見及びいじめへの対処などの対策を総合的かつ効果的に進めます。

図書室だより

一般書

『帰り来ぬ青春 探偵・竹花』

藤田 宜永/著



竹花の旧友、国分の遺体が発見された。自殺を疑う国分の娘の依頼で調査を開始した竹花だったが、事態は意外な展開に…。

- ・ネバー・シールズ 最強の狙撃手 クリス・カイル/著
- ・ラスト・ワルツ 柳 広司/著
- ・悲嘆の門 上・下 宮部 みゆき/著
- ・千春の婚礼 平岩 弓枝/著
- ・賢者の愛 山田 詠美/著
- ・雪炎 馳 星周/著

児童書

『妖怪いじわるひょうしき』

土屋 富士夫/作・絵/作



おなかか「ハ」で、家に急いでいたひでくんに、ひょうしきが「近道していきなよ」と話しかけてきたが…？

- ・ルとラのフロッピー あんびる やすこ/作・絵
- ・進化する船のしくみ 鈴木 和夫/著
- ・アソール・ワットのガバ 1 洪 在徹/文
- ・わらうが5つのお話 日本児童文学者協会/編
- ・2 りいバースがぬすまれた？！ マーゴリー・W.シャーマン/ぶん

新着図書紹介

ここに書いてある以外にもたくさんの新着図書があります。みなさんどうぞご利用下さい。

実用書

『子どものグズグズがなくなる本』

田嶋 英子/著



グズグズをこねる、すぐ「できない」と言う、要領が悪い…。それは子どもの性格ではなく「心のくせ」。加齢なことでもやめられます。

- ・拝啓、アパルター先生 奥田 健次原/著
- ・新・予防接種へ行く前に ワクチン全国/編
- ・「イスラム国」の脅威とイラク 吉岡 明子/編
- ・虚構の法治国家 郷原 信郎/著
- ・「本」と生きる 肥田 美代子/著
- ・驚沢玲子のパッチワーク 驚沢 玲子/著

絵本

『わすれもの大王』

武田 美穂/作



わすれものをした子は点数がふえていく棒グラフが貼られました。けんたくんは「わすれもの大王」として人気者になるのですが…!?

- ・仏とデイブ、あなをほる マック・バーネット/文
- ・ともだちべんとう 木坂 涼/文
- ・おてんきなあに はた こうしろう/さく・え
- ・きめてよ、おじいちゃん! ジャック・ルウ/文
- ・ありがとさん こんの ひとみ/作
- ・ヨックです。 西村 敏雄/作

～図書室からのお知らせ～

■4月の休館日

4月29日【水】は祝日の為お休みです。

■青少年センター図書室開館時間

午前9時から午後5時(月・水・金・土・日)

午前9時から午後7時(火・木)

■厚南会館図書室

午前9時から午後5時(月～日)

※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。

■絵本の読み聞かせ

おはなしのびっこ 4月23日【木】

午前10時30分から午前11時

■4月の移動図書

15日【水】

ともいき荘 午後 2時00分～ 2時30分

24日【金】

さくら保育園 午前 9時50分～10時10分

上厚真小学校 午前 10時35分～10時50分

宮の森保育園 午前 10時55分～11時10分

毎月第4木曜日に予約不要・無料で開催しています。

読み聞かせ、紙芝居、パネルシアター、エフロンシアター、フラックパネルなどの演目を行います。

ぜひ遊びに来てください。



☆放課後子ども教室☆～1年を振り返って～

今年は、例年より早めに雪解けが進んでいるかと思えば大雪が降り、近づいたかと思えば遠くなる春の足音です。3月は次の年度への期待が膨らむ季節。6年生は卒業を間近に控え、1～5年生は次の学年への進級に向けて準備をする時期ですね。昨年の4月に比べ、ぐっと身長が伸び、顔つきも少し大人びてきた子どもたちを前にすると、1年という短い月日の中にも成長を感じています。

今年度の放課後子ども教室の活動も、大きな事故やケガもなく、無事に終わることができました。参加してくれた子どもたちはもちろん、活動に対しご理解をいただき、子どもたちを送り出していただいた保護者の皆さん、活動にご協力をいただいた地域の皆さんに改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。放課後子ども教室が始まって3年が経ち、子どもたちの間にも活動が定着してきたように感じています。一方で、「このような活動を行政が担うのは過保護すぎるのではないか」という声も活動が始まった当初から耳にしてきました。厚真の子どもたちと接する中で、良いことも悪いこともやってみたいという好奇心があり、ときにはケンカをしたり、失敗したりすることもあるけれど、素直で遊ぶことが好きという子どもたちの本質は、今も昔も変わらないように思います。しかし、今の子どもたちの遊び方として電子ゲームが大きな存在としてあり、ゲームの内容が友だちとの共通の話題であったり、コミュニケーションの道具となっていることは確かです。厚真で育った子どもたちが将来、自分の子ども時代を思い返したとき、これほど豊かな自然環境や生産現場が近くにあるにもかかわらず、ゲームで遊んだ思い出しかないということにはなってほしくありません。ゲームだけでなく友だちと一緒に外や体育館、学校林、近くの畑や空き地で遊んだという体験を少しでも多く残してあげたいと考えています。その経験がその後、子どもたちの心の糧として生きていくものだと思っています。それが放課後子ども教室の存在意義であり、役割なのではないかと考えています。私たちのチカラだけではできないことも、地域の資源（ヒト・モノ・想い）を共有し、得意分野を生かして一緒にやれば、できることはもっと増えていくはずですよ。子どもたちが自分が育ったまちのことを、自分の体験をもとに、自分の言葉で語れる人となれるよう、学校や家庭、地域との情報共有を積極的に行いながら、活動を続けていきたいと思ひます。次年度も引き続き放課後子ども教室をどうぞよろしくお願ひいたします。

